

昭和六十四年度奨学生募集

市では、昭和六十四年度の奨学金を希望する「奨学生」を次のように募集します。

この奨学金は、主に経済的な理由で高校などの修学が困難な人たちに、必要な学資の一部を——と、市制二十五周年を契機に制度化され、市民

の皆さんの協力を得た基金で運営しているものです。

給付額は、月額五千円で、特別なことがない限り、在学する学校の正規の修学期間を修了するまで続けられます。なお、この奨学金は、返さなくてもよいことになってい

ます。

①申請（申請）できる人

②申請する日の一年前から引き続き新津市に居住している人

③市内の高等学校（盲学校、ろう学校、養護学校の高等部）に在学している人

④向学心を持ちながら、学資の支弁が困難な人

⑤中学三年生で②の学校に在学し、かつ、流れる奨学金を認

認し、解の沖アミを二つ取り出し、抱き合せてハリに付け、コマセを撒き、その中に仕掛けを投入し、一服する。

待つこと一時間余り。想先にかすかにあたりらしいのを感じ、全神経を

黒鯛に魅せられて

中新田 岡村 健二

沖アミのブロックを一個、お湯で溶かしてもらい、釣り場へ急ぐ。目あての場所に着いたが、まだ暗く、ライトをつけて仕掛けを六時。今日の日の出は六時。そろそろ越後連峰が連なる東の空が白み始め、海面も輝いてきた。コマセをバラバ

進（入）学を希望している人

申込期間 一月五日（木）～二十日（金）

■手続きの方法

申請用紙（奨学金支給申請書、奨学生推せん調書）は、教育委員会と中学校に用意してあります。その用紙に必要な事項を記入して学校長あてに提出してください。なお、奨学生の決定は、審査委員会に諮って決められます。

月二十三日の日誌より。

この年は、合計八十四枚の釣果があり、以降しりつぽみとなる。近年は、釣果ゼロの日が多く、そんな日は太公望の気分、遥か洋上に浮かぶ佐渡や石油基地のタワーを眺めながら、オゾン層を腹一杯に吸って英気を養う一杯にしている。付近は、イナダ、アジ、イワシなど魚の宝庫であり、日曜祭日には、大勢の人で賑わう。最高の釣り場にもかかわらず、心ない一部の人のために、立入りができなくなつたと聞く。残念でならない。

＊ ＊ ＊

このバトンを取島一の伊藤春男さんにリレーします。

募集に関する問い合わせ

教育委員会学校教育課（電話 2412111 内線 1432）へお問い合わせください。

税に関する標語で浅見君ら四人が署長賞

関東信越国税局では、中学生を対象に「税に関する標語」を募集しました。当市からは、次の方が入選されました。

（新津税務署長賞）

税金はより良い社会のエネルギー 浅見 徹君（中）

納税で施設充実するいい生活 桑原 里美さん（二中）

納税は明るい社会をつくるため 浅見 正幸君（五中）

税金は国の明日のエネルギー 伊藤 正道君（新関中）

16、映写機操作技術認定講習会

16、映写機操作技術認定講習会が次のように開かれます。どうぞご参加ください。

□とき：一月二十九日（日）

□午前九時～午後四時

□ところ：視聴覚センター

□対象：一般市民（高校生以上）

□内容：映写機の構造などの学科、映写機の実習技術練習

□定員：三十名（定員になり次第、締め切ります）

□費用：テキスト代四百円 □申込み：一月二十七日までに視聴覚センター（電話 2210201）へ直接電話でお申し込みください。

お買物、ご用命は市内で

新年のごあいさつを申し上げます

ことしもよろしくお願ひ致します。



ケーキとコーヒーの店
いっ ぶさかや
本町2 22-0112